

総務部

組織を円滑に運営するため、館の方針の企画・立案、予算と執行の管理、庁舎の管理、人事の管理といった事務のほか、行政・司法各部門の支部図書館や国会との連絡調整などの業務を担います。

図書館のアクセルとブレーキ、そしてバランス

松澤 貴弘 総務課法規係長



国立国会図書館にも、資料に触れない裏方の仕事があります。私が所属する総務課法規係は、いわゆる法務部門に当たり、法令や内規に関する各部署からの照会への対応と、当館法規の制定改廃を主な業務としております。

法務部門の役割は、わかりやすく言うとアクセルとブレーキです。平時には業務が円滑に進むように後押し（アクセル）をし、非常時にはリスクに備えた抑制（ブレーキ）をかける。100年、いやもっと先まで資料を保存し、提供し続けるためには、時代の変化に対応しつつ、安定性と一貫性も求められます。現場の要望に沿えず、心苦しいときもありますが、組織全体をよく俯瞰し、実際の現場を想像しながら、アクセルとブレーキのバランスを模索することに醍醐味を感じています。

直近では、オープンアクセスの推進や手続のオンライン化に関連した法規整備に取り組みまし

た。いずれも国立国会図書館全体の業務と関係する事柄であるため、既存の業務と整合し、受け入れられるようなルールを作成することに苦慮しましたが、その分、法規の施行まで漕ぎ着けた時の達成感はひとしおでした。

学生時代の専攻

法学

Career

H27.4 総務部総務課

H28.10 調査及び立法考査局議会官庁資料課

H30.4 出向（衆議院法制局）

R2.4 総務部総務課（R2.7 法規係長）

出向・人事交流

外部機関での経験により視野を広げ、国立国会図書館での業務に役立てることを目的として、国や地方公共団体等の諸機関と出向・人事交流を行っています。また、実務研修として、公共図書館との研修交流も行っています。

〈主な出向先・実務研修員派遣先〉

衆議院事務局 衆議院法制局 参議院法制局 会計検査院

宮城県図書館 東京都立図書館 京都府立京都学・歴彩館 大阪府立図書館

海外留学

国立国会図書館では、調査部門・図書館部門から若干名の職員を海外の大学院に派遣しています。最近の留学先としては、UC Berkeley, LSE, The Fletcher School of Law and Diplomacy, King's College London 等があります。



浅井 一男（調査企画課企画係長）右から2人目

私は、国立国会図書館の長期在外研究員として、平成29年7月から約2年間、アメリカ合衆国ボストンに留学しました。留学前に調査及び立法考査局で外交防衛分野の調査業務を担当し、日米関係について調査する機会が多かったこともあり、国際関係の研究で著名なタフツ大学フレッチャー法律外交大学院を選びました。大学院では、これまでの業務経験を踏まえ、「安全保障」と「アジア太平洋地域」を専攻しました。修士論文は米国の外交政策をテーマとし、なぜ米国が1930年代から1950年頃にかけて、孤立主義をやめ世界に積

極的に関与するようになったのか、基地計画の変遷に着目して執筆しました。

学生生活は課題や試験等で忙しい毎日でしたが、その分、多くの学びがありました。何より、人種、国籍、年齢、専門等の異なる背景を持つ人々に囲まれ、様々な価値観に触れ、視野を広げられたことは貴重な経験でした。他にも、研修旅行に参加し、欧米諸国とロシアとの間で激しい綱引きが行われている黒海地域の政治経済について学んだことや、20以上の州を訪れ、米国の多様性について見聞を広めたことも得難い経験でした。今後、この在外研究で学んだ知識や英語を、調査や国際的な業務にいかしたいと思います。

国立国会図書館には、在外研究を含め様々な研修の機会があります。私も、入館以来、語学研修や短期在外研究等を経験しました。これら研修で得た知識やスキルは、業務に資するとともに留学準備の土台となりました。成長し続けたい方にはうってつけの職場だと思います。

図書館及び関係機関との連携

国立国会図書館は、国際図書館連盟(IFLA)等の国際的な活動への参加等を通じて、海外の国立図書館や関係機関と交流し、さまざまな協力活動を行っています。業務交流の場での通訳や国際会議でのプレゼン等、語学の堪能な職員が活躍する機会があります。

